



初日の出

中田島砂丘

中田島砂丘は、浜松市南部の遠州灘と呼ばれる太平洋に面した海岸砂丘で天竜川河口の西側で日本3大砂丘の1つといわれ東西4km、南北500mにおよぶ規模です。遠州の空っ風による繊細な風紋は美しく芸術的であり、真冬でも訪れる人は絶えません。砂浜には、一年を通して多くの植物が見られます。また、アカウミガメの産卵地となっており、中田島砂丘では地元のサンクチュアリエヌピーオーが保護活動を行っていて、卵を保護するふ化小屋も4カ所設けていて8・9月には、ふ化した子亀を市民や子供たちに放流させる活動を行なっています。市内の神社の祭には、この浜で浜垢離などが行われます。



毎年5月3・4・5日には「浜松まつり」が行われ、昼間の中田島砂丘では、180余町が参加して凧揚げ合戦があり、夜には市内中央で御殿屋台の引き回しがあります。『浜松まつり会館』では、凧や御殿屋台を展示し浜松まつりを紹介案内しています。また、凧作りや作った凧の凧揚げ体験も出来ます。

浜松まつり期間中は、展示屋台に乗って記念写真が撮れ、また、浜松観光ボランティアガイドの会は凧をバックに記念写真を撮るイベントを行なっております。



アクセス
JR 浜松駅からバスで15分、中田島砂丘下車
中田島砂丘入口すぐ近く、波打ち際まで徒歩15分
まつり会館 すぐ近く

浜松観光ボランティアガイドの会

浜松市中区元城町100-2(浜松城内)

TEL & FAX : 053-456-1303

<http://www.hama-svg.jp/>